

29日

厚真町へようこそ！大阪府の高校生が民泊

8月29日から1泊2日、学校法人早稲田大阪学園早稲田大学系属早稲田摂陵高等学校の2年生12人が町内で農家民泊を体験しました。生徒は、農業や酪農体験を通し、厚真町の文化や生活について理解を深めていました。

参加した生徒の成山佳冴さんは「リスを見て感動しました。自分で掘ったじゃがいもをじゃがバターやポテトサラダにして食べたのが思い出です」と笑顔で話していました。



8日

夏休み！建設中の厚幌ダムを見学

厚真町子ども育成連絡協議会（尾谷純司会長）主催の厚幌ダム建設工事現場見学会が行われ、町内の小学生と協議会役員など約30人が参加しました。

2回目の開催となった今回は、ダムのコンクリートに使われる大きな砂利に夢や願い事、絵などを自由に書く「メモリーストーン」を制作。

子どもたちは「プロ野球選手になりたい！」「海外に行きたい！」などの願いを記入していました。

このメモリーストーンは、9月に予定されている打設完了式の際にダムに埋められる予定です。



30日

苫小牧電気工事業協同組合創立50周年 町に車椅子2台を寄贈

苫小牧電気工事業協同組合（長居順一理事長）は町に車椅子2台を寄贈しました。

今年、創立50周年を迎えた同組合の記念事業の一環として、組合エリアの東胆振・日高管内1市10町に車椅子を寄贈。

長居理事長は「町民皆さんのために役立ててほしい」と話していました。



11日

いつもキレイにありがとう！ 厚南デイサービスセンターで納涼の集い

厚南デイサービスセンターで利用者と地域の人を交えた納涼の集い（流しそうめん）が行われました。

上厚真老人クラブ「寿楽会」（阿蘇美紀子会長）がボランティアでデイサービスセンター敷地内の花壇整備を行っており、厚南デイサービスセンターでは日ごろの感謝を込めて3年前から納涼の集いを開催。

黒田邦俊センター長は「いつも施設の前をきれいにしてくださる感謝しています。近隣住民の方も気軽に立ち寄ってほしいです」と話していました。



31日

平和への近い新たに「戦没者追悼式」

総合福祉センターで戦没者追悼式が行われ、遺族や来賓約40人が参列。黙とうや献花などを行い、戦争で尊い命を落とされた方々の安らかなご冥福を祈りました。

町遺族会の加勢敏和会長は「戦争の悲惨さとそこに幾多の尊い命が犠牲になったことを次の世代に語り継ぐことが私たち遺族の努め」と述べていました。



19日

こども園つみき園児が交通ルールのお勉強

こども園つみき（油谷諭園長）で、こぐまクラブによる交通安全教室が行われ、「JAF交通安全ドレミぐるーぷ」が公演を行いました。

この日は「じゃぶくん」が登場。園児たちは音楽と一緒に楽しく交通安全ルールを学んでいました。



31日

亀井一雄さんが瑞宝双光章を受章

亀井一雄さん（京町・88歳）が瑞宝双光章を受章され、町長室で伝達式を行いました。

亀井さんは町助役、町監査委員などを務め、永きにわたり地方自治にご尽力されました。

伝達式では代理で来庁されたご家族の方へ宮坂町長から叙勲が伝達されました。



23日

厚南中学校2年生が勤労体験

8月23日から2日間、厚南中学校（細野輝彦校長）の2年生が町内や苫小牧市の事業所等で勤労体験学習を行いました。

グループホーム「えがおの家」で介護の仕事を経験した吉岡珀和くんは「職員は着替えや移動など全て介護しなければならないと思っていたけれど、利用者の方が自分でできることは自分でいい、出来ないところをサポートするのだと学びました」と感想を話していました。

